



# 1912 フォード モデルT タウンカー



## 製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	802
総生産量	68,733
馬力	22
重量	未知の
当時売価	\$900 (USD)

## イノベーション(ポイントのみ)

濃い青で塗られた車体

ランボードとラジエーターにエンボス加工された”made in USA”

新しいリアアクセルハウジング

クローズドバルブ型エンジン(1911年後半に始動)

ホーリー社のH-1キャブレター、もしくはキングストン社のシックスボールキャブレター搭載

1911年から60ドルの値下げ

## 上品なモデルT

モデルTタウンカーは、フォード社の車の中で最も認識しづらい車です。この細かいボディは、一般的にポンティアック社として知られるO.J. ボーデットボディー社によって作られました。リムジンを所有している人の多くは、1912年製の802タウンカーを購入しました。その他には、高級ホテルなどがゲスト車として買い取りました。興味深いことに、タウンカーの車体は板金で出来た他のモデルTと異なり全て木で出来ていました。重量もモデルTツーリングカーと比べると、約2倍も重い車体でした。運転手の頭の近くに黄銅でできたホーン(警報機、クラクション)があります。これは後部座席までチューブで繋がれ、乗客は運転手と会話することが出来ました。

貸与先: Scott Rosenthal